

第2回 野々市市子ども・子育て会議
会議録（要旨）

日時 平成28年2月22日（月）午後7時から
場所 情報交流館カメラア ホール椿1・2

1 出席委員 20 名

2 配布資料（当日配布）

支援事業計画の概要について

平成 28 年度特定教育・保育施設定員予定

平成 28 年度の学童保育利用見込み

子育て支援事業の現状について

3 会議録

1 開会

2 議事

（絹川会長）

こんばんは。一中略一早速議事に入ります。

平成 27 年度支援事業計画について事務局から説明をお願いいたします。

（事務局）

支援事業計画の概要について説明いたします。

最初に、保育園関係の状況といたしまして、昨年 4 月より、法人 11 園、公立 4 園の 15 園体制でスタートしております。新たな 2 園開園で保育ニーズを吸収できると判断し、公立の中央保育園を休園といたしました。平成 27 年 4 月 1 日の園児数は、1,932 人であり、定員が 2,000 人でありましたので、すべての園において充足していた状態でのスタートであります。しかし、平成 28 年 2 月 1 日における園児数は、2,110 人となり、特に 0,1 歳児の保育ニーズが高く、法人園の協力を得ながら、公立園においても 0 歳児の受け皿作りをいたしました。このような中平成 28 年度の入園申込に対して、待機児童を未然に防ぐことを目的とし、休園中の中央保育園を平成 28 年度より開園することといたしました。中央保育園は 0～2 歳児の未満児保育園とし、定員 30 名で人口推計から 4～5 年は開園を予定しております。

次に児童関係ですが、放課後児童クラブについて、15 クラブ 771 人で 4 月 1 日スタートしております。昨年度は 12 クラブ 644 人でしたので、127 人増です。本年度は、菅原小学校グラウンド内に「すがはらクラブ」を 3 クラブ建設中であり、4 月には新入児対応もあり、5 月の連休中に現在の所から移動する予定です。また、平成 28 年度には、栗田の旧町営住宅跡地に 4 クラブ分の放課後児童クラブを建設する予定です。3 年生から 6 年生までの利用拡大や保護者の利用ニーズの高まりから、計画的な施設整備の必要性や受入児童の増による支援員確保が課題となっております。

続きまして、子ども・子育て支援新制度について、現在国の動向として、多子世帯の保育

料の負担軽減を予定しております。また、県の単独事業では、放課後児童クラブで年収 360 万円未満の世帯における、18 歳未満の児童を 3 人養育している多子世帯の第 3 子以降の子どもの利用料を実質無料化の記事もございました。また、平成 28 年 8 月以降、児童扶養手当でも所得制限を設け、第 2 子、第 3 子に対する加算額の増加が予定されています。その他、子ども・子育て支援制度の新制度に向けたメニューも多く、国や県の動向を注視していきたいと考えております。

最後に、その他として、県の事業で在宅育児家庭通園モデル事業があり、本市でも認定こども園和光で事業化しております。また、加配保育士を決定する「障害児保育委員会」の開催回数を増やし年 2 回開催し、保育の向上に努めていきたいと思っております。ひとり親世帯の小学生を対象に、夏休み、冬休みに子どもの学習支援事業も予定されています。

以上、支援事業計画の概要とさせていただきました。

(絹川会長)

それでは次に、平成 28 年度特定教育・保育施設利用定員について事務局から説明をお願いいたします。

(事務局)

資料「平成 28 年度特定教育・保育施設利用定員予定」に基づき説明

(絹川会長)

それでは次に、平成 28 年度の放課後児童クラブ利用見込みについて、事務局から説明をお願いいたします。

(事務局)

資料「平成 28 年度の放課後児童クラブ利用見込み」に基づき説明

(絹川部長)

それでは、議事 4 のその他に移ります。1 から 3 の議事以外に、委員の皆様により、ご意見やご質問等はありませんか。それでは、これで全体会を終了いたします。引き続き、部会でご議論いただきます。

以上